

彼方 「あなた」

校長通信
H30.7.6
Vol.12

【悔いを残さない！】

W杯から帰国したサムライジャパンの面々による爽やかな記者会見を聞くことができました。「試合に負けたのは悔しいし、もう少しこのチームで試合をし、何かを成し遂げたかった。本当に悔しい。



Yahoo japan より

でも悔いはない！」という感じのコメントがとても心に残っています。そして、成田空港に到着した時の選手の顔には、何かを成し遂げた満足感があふれていたように感じました。

「悔しいけど、悔いはない」とても深い言葉だと思います。まだまだやり足りないことは沢山あるかもしれないが、今できることは精一杯やり切ったという満足感であり、試合結果には悔いが残るが、それを観てくれた日本のサポーターや多くの国々の人達、チームに関わったすべての人達に感動を与え、勇気を与え、元気を与え、笑顔に変えることができましたという満足感だと思います。彼らが周囲に貢献しようとする気持ちが、選手だけでなく多くの人を動かしました。その結果、スタ

ップが試合後のロッカールームを来た時よりきれいにし、「スパシーボ（ありがとう）」のメッセージを残して帰ったり、サポーターが観客席のごみを片付けてきれいにして帰ったりという行為にもつながり、相乗効果を高めているのです。まだまだ紹介されていない感動的なことが沢山あると思います。大切なのは、「サッカーを通じて世の中に貢献しようとする強い思い」、価値観です。それは、彼らがプロの選手だからということではなく、誰にでも持ち合わせているものであり、中学校の部活動にも通じます。昨年度、全国駅伝大会優勝に大きく貢献した選手の中に野島健太さんがいます。彼が校長面接で話してくれたことを今でも覚えています。「あなたは何故あんなに苦しい練習をするのですか？」「はい、僕たちが必死に練習し、優勝を目指して頑張っている」と、応援してくれる人たちが笑顔になるんです。絶対に優勝してもっと喜んでもらいたいと思っています。「彼の中の価値観は「周囲の笑顔」でした。各部活動の大会やコンクールで結果を残そうと必死に努力する姿やあきらめずに最後までやり抜く姿、誰かのために何かを成し遂げようとする必死の思いが、同じ部の仲間を感動させ、他の部活を刺激し、他校の人達にも勇気を与えていくのです。みなさんが笑顔で挨拶してくれる姿、一人一人が自分でできることを一生懸命取り組む姿に勇気と元気をもらい、心を動



かされるのだと思います。それは部活動を通じてみなさんが学んできたことでもあると思います。トップに立つチームは一校しかありません。でもトップを目指してどう取り組むかは、全ての学校にチャンスがあります。私たち白山中学校は、他の学校の人達や会場に応援に来てくれる保護者のみなさん、先生方、関わっていただいた全ての人達に勇気と元気を与え、笑顔に変える取り組みをしたいと思います。それが「白山ブランド」であり、みなさんに身に付けて欲しい価値観なのです。そして、その価値観から生まれてくる姿が、最後まで一生懸命プレーする姿であり応援する姿、明るく爽やかに挨拶する姿、運営を積極的にサポートする姿なのです。周りに貢献できるように、一人一人が今からどのように動けばよいか、何をすればよいかをよく考え、悔いのない大会やコンクールになるように臨んで欲しいと思います。特に三年生にとっては、中学校生活最後の部活動です。「今」に集中して取り組んでください。そして最高のパフォーマンスを披露できるようにみんなで「みがき合い、支え合う」ことで目標の結果につながるように頑張ってください。一、二年生は誰よりも早く活動場所に行き、声がかかるまで三年生を応援し、サポートしてください。各会場で躍動するみなさんの姿を本当に楽しみにしています！

